

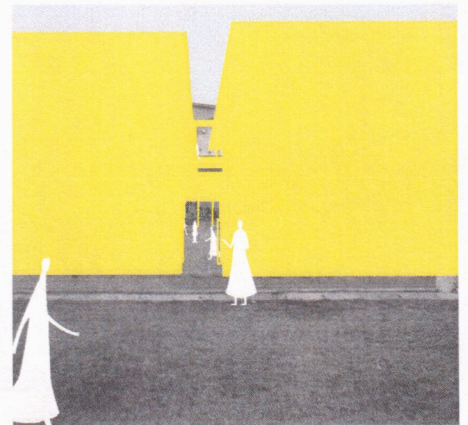
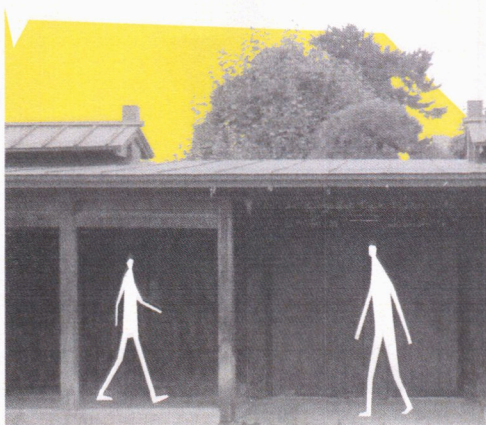
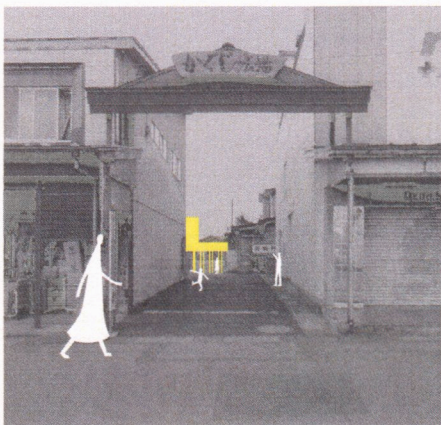


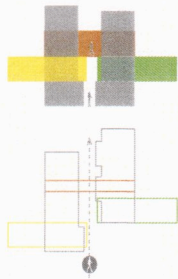
# 檸檬

秋田県立大学 システム科学技術学部  
 建築設計システム学科 建築・計画学講座  
 2019年 北山絵梨奈

青森県黒石市の中心市街地空洞化に対して若くフレッシュな若者の感性を既に都市的文脈を持っている黒石市こみせ通りに隣接している場所に取り込むことで、付け合わせの檸檬のように今までとは異なる新たな黒石市の魅力の発見に繋がるような、アーティストのアトリ工機能と商業機能を含んだ専門学校の提案。

専門学校生やアーティストの作品や作業風景を立体的に交差させることで生まれる今後の黒石市を担う若者の一活気のある空気感、未来の街並との出会いの体験。

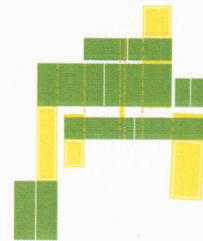




敷地内を通る人々の目に著者の個性が見えるようにするために、通り沿いにアーティストゾーンを配置するとともに、専門学校機能としての教室や作業場を立体的に交差させ、通りに突出するような立体的な路地のような賑わいを誘わせるデザイン



一本道であるこみせ通りを訪れた人々が、かくじ広場から商店街へ抜けることができ、道を敷地内部のメインストリートとして整備することで、観光客が施設の雰囲気を感じながら楽しく歩けるデザイン



人々の主な通り道に面する建物の1階はこみせ通りの空間構成を醸成して付帯空間とし連続性を確保するが、2階部分などは部屋幅としそれを別巻扉の様に貫通、挿入することで新しい形態とが過み合い融合していることをイメージしたデザイン

